

ハッピーハウス通信

私たちは、生きとし生けるものすべて、命の重さは同じだと考えています。



廣瀬ワン吉

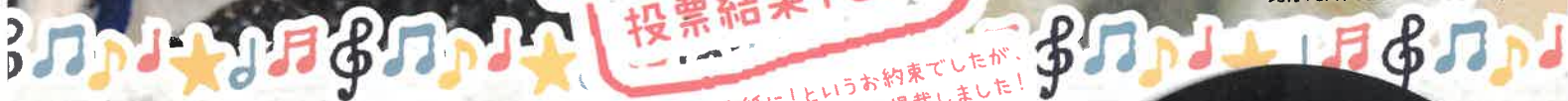


池田むぎ

にゃんだ祭
親バカ7オトコンテスト
投票結果TOP3

2017年12月
NO. 81

発行 / JAT (日本アニマルトラスト)



CONTENTS

- 🐾 フィガロハウスから卒業!
- 🐾 里親のみなさまからの
"しあわせレポート"
- 🐾 スタッフからの **熱い!** メッセージ



山崎希い



里親物語 ドール編

Foster stories Doll edition

フィガロハウスから卒業!

※介護が必要な
子たちが暮らす棟

ドールとの出会い

【河内長野市 竹林 百合様】

犬に選んでもらう

今年の4月、17年半を共に過ごした先代の犬が亡くなりました。急に家の中が静かになってしまい、寂しくなって。先々代の子からずっと犬との暮らしが続いていたので、家族みんなでやっぱりワンちゃんがほしいなあ〜と。ご近所や友人知人に声をかけて引き取れる子を探したり、ホームページでいろんな施設などを調べているうちに、ハッピーハウスの存在を知りました。

能勢ってどこ?って感じだったけれど(笑)

6月3日、初めてハッピーハウスを訪れてみました。「フィガロハウス」を見て、心が落ち着いたんです。老犬は心が穏やかになれるなあ〜と実感。先代、先々代のおかげで介護には慣れているし、



ドール(推定)14歳



母親の禮香様(左)と

老犬はヤンチャもしないし(笑)

そこで、翌週も再び行ってみる事に。

そんな老犬たちのなかから、どの子がいいかな?と大の犬好きの息子に聞いてみたら、彼にこう言われたんです。

『こちらが選ぶんじゃない。犬に選んでもらうんだよ』って。その言葉でハッとしました。『うちでよかったら』という気持ちにならなきゃって。里親になるのは初めてだし、あこがれもあった。でも、どこか上から目線だったかな、と気づかされました。

やはり動物好きの娘からも「ゆっくり探せばいいよ」とも言われ、ホントはすぐにでも欲しかったけれど、ウチを選んでくれたらいいな〜と願いつつ、3か月間毎週、河内長野から能勢まで片道3時間かけて、ドールに会いに通いました。



ハッピーハウスで初めてドールと散歩に行ったとき、クルクル回ってばかりで、あまりうまく歩けな

かった。この子は目が見えていない、耳が聴こえていないんだということもわかった。だから逆に、この子を支えてあげたいな、と。

そもそも動物を飼うこと自体、手間はかかるものだし、目も耳も不自由なのはこちらで補うことができる。「おすわり」や「お手」ができないなんて何でもないこと。仔犬を育てる楽しみは以前に味わっているし。だから老犬を引き取ることに何の抵抗も感じませんでした。むしろ年いった子は可愛いですよ。穏やかだし。ドールちゃん、ホント可愛い！

ドールとの暮らし

ウチに来てから、散歩というほどではなくても少しずつ歩くようにはなってくれました。

抱っこして外を一緒に移動して、下ろしたらドールが少し歩いて、また抱っこして移動して、という感じで。ご飯はしっかり食べてくれます。

絶対に家の中で一人にはしません。やっぱり毎日に張合いがありますね。

これからはとにかく健康で、長生きしてほしいです。気ままに生きてくれたらいい。病気や事故ではなく、天寿を全うしてほしいな。家の中でも外でも抱っこするときにはいつも、私が見たもの感じたことをこの子に語りかけているんですよ。



ドール！
ありがとう



先代の子にはいつも「可愛いね〜」「いい子だね〜」「大好きだよ！」と言っていました。その子が亡くなったとき、家族みんなの口から「ありがとう」という言葉が自然に出たんですよ。

でも同時に、あの子が活着ている間には、その言葉をかけていなかったことに気づいたんです。聞こえているうちにその気持ちを伝えたかった…だからドールには、いつも言っています。「ウチに来てくれて、ありがとう！」と。



しあわせ
いっぱい

みなさまからの

しあわせレポート

たくさんのご投稿を
ありがとうございました！



茶吉 2017年5月卒業

茶吉と出会ってから
半年になります。

ハッピーハウスの皆様へ
茶吉を紹介していただいてから約半年
が経ちました。今では既に大切な家族の
一員です。

とても世話のやける末っ子ですが、家族
みんながメチャクチャ楽しい毎日を
過ごせるのも、ワガママで少しドンくさい
茶吉のおかげです。

募金犬のエースとして多くの皆様から
愛されていた茶吉を紹介頂けた事を
心から感謝し、これからは私たちが皆様に
負けない愛情で一緒に暮らしていきます。
皆様もお体には気を付けて、これからも
大勢の方々を幸せにしてください。
皆様、本当にありがとうございました。



うちに来る?

ペコ ホームページ経由で

ペコは、私の仕事場の看板犬
として頑張ってくれています。
病気もせず、毎日元気に出勤
しています。
たまにストレスでストライキを
おこし、その時はお休みして
もらってます。
人が大好きなペコです。

【ペコママ様】





H29.10.1



H29.7.23



H29.9.13



H29.10.18



H29.6.13



アンナ 2009年12月卒業



もともと怖がりで気の小さいアンナですが、なぜか、カメラが怖いようです。帰宅した私の方へ飛び付いて来たいのですが、カメラが怖くて近づけない様子^^;まるで、ダルマさんが転んだ…状態のアンナです。

【真玉 由紀様】



シュワンツ 2004年11月卒業



生後4か月頃にわが家に来たシュワンツですが、今はもう13歳になりました。

見学に行ったとき、一番愛想のなかったシュワ。去勢が終わり正式に引き渡して頂けるまで、毎週、能勢まで通ったのを昨日の事のように覚えています。

迎え入れた当初は、山の中にあるハッピー育ちのシュワにとっては街中での散歩は恐怖でしかなく、しっぽがお腹に隠れるほどのビビリ具合。帰宅してから、ホッとしてトイレをするという状況でした。でも、家を安心する場所とってくれたのは、とても嬉しかったです。

この13年の間、子供達が叱られたときは後でシュワがなくさめてくれたり、みんなで並んで昼寝したりと、四人の子供達にとってはペットではなく、まさに兄弟のように育ってきました。

長女の喘息が発覚し、医師からシュワを手放すよう言われた事もありました。でも、喘息のキツイ時には部屋を離したりなど、共に暮らしていくために、シュワも協力をしてくれました。

今は、ずっと一緒ですが、子供達がワイワイ遊びだすと、『さっさと避難しよ〜』と逃げだします(笑)

以前は怖がっていた雷も、いまではその音に気付かないぐらいに耳も遠くなり、歩くペースも遅く、じいちゃんになったなあ〜と感じますが、まだまだ元気に『おやつをくれー』と寄ってきます(^o^)

これからも、家族みんなの癒しのシュワンツでいてくれますように☆

【シュワママ様】



冬美 2015年8月卒業

相変わらず窓の外を眺めるのが大好きな冬美ちゃん。

窓の外に見える畑に鳥がたくさん来るので、パトロールに大忙しです。

最近では体調も良く、病院での健診は月1回から2ヵ月に1回、そして今は半年に1回のペースになりました。

よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ、少女のように可憐な中年女子です。

これからもみんなで仲良くのんびり暮らします。

【石川 由貴子様】

畑に来るキジを
パトロール中



いつもここに
居ます



お昼寝満喫中



うさぎではありません



ねこ歩き参加中



ピアノ練習を監視



チロル→しっぽになりました。
2015年5月卒業



朝方、私の腕に
包まれるのが
大好きです

しっぽは5歳になりました。元気に暮らしています。
先住猫のごろん太(7歳)と、走り回って元気にして
います。

我が家に来てからも大きな病気、怪我などありません。
彼女が元気な日々が本当にありがたいし、嬉しいです。
ただ、長男を妊娠してからは、ぐっと甘えん坊になり
ました(笑)

【しっぽのママ様】

壁にめり込ませて
お昼寝



暑い時の
スタイル(笑)



8ヶ月の長男の
てんとう虫の
おもちゃが気になる!



みなさまからの
“しあわせレポート”、随時募集中です!

たくさんの「近況報告」をお送りいただきまして、本当にありがとうございました!
制作スケジュールの関係上、今回の掲載に間に合わなかった皆様、申し訳ありません。
次号もみなさまからお寄せいただいた“しあわせ”で誌面を飾りたいと思っています。
引き続き、ご投稿をお待ちしております!

お便りまって
ま〜す♡



オレガノ 2010年7月卒業

幸せかどうかはおーちゃんに聞いてみないと分かりませんが、
この様子からしてマイペースなんだと思います。
もしなにか不満でもあればどうしましょうか。

【オレガノの父様】



緊張感のない姿



哀愁の漂う背中



ギャルの
へそ天姿の寝姿

「おーちゃん、お散歩に行こうか!!」と
云いますとこんな顔をしてくれます。



「めっちゃ可愛い!!」です。

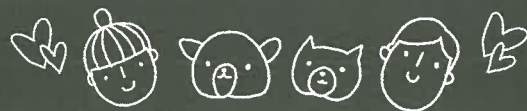
🐾 お寄せいただいたレポートから、新しい飼い主様との本当に
幸せな暮らしぶりを垣間見ることが出来ます。彼らを送り出した
私たちスタッフ一同も感無量です。

🐾 「自分だけの家族との暮らし」が動物たちにとってどれほど
幸せなことか—を改めて痛感させられます。里親になって下さった
皆さま、本当にありがとうございます。

🐾 ハッピーハウス開設以来これまで27年間で、累計約3,600頭
がここを卒業していきました。その一方で、現在まだ550頭もの
子たちがここで“施設暮らし”です。

🐾 幸いにも家族の一員に迎えられて、ここを卒業していく子が
いる反面、様々な経緯を経て新たに入ってくる子たちも後を絶ち
ません。新しい飼い主様とめぐり逢うまで、あるいはその命を全う
するまで、私たちは精一杯彼らの「生きる」を支えていきます。

🐾 それも皆さまからのサポートがあってこそ。皆さまの日頃のあた
たかなご支援・ご厚意に、心より感謝申し上げます。



ありがとうございます。
幸せになりました!

2017年7月22日～
 2017年10月18日に
 新しいご家族のもとへ
 迎えられました。

Dogs



ラギー→ちまきになりました
 2017年 8/16 卒業



メリー→ディアになりました
 2017年 8/20 卒業



パニラ
 2017年 8/24 卒業



リバー→コロンになりました
 2017年 9/18 卒業



チャーリー→チャリコになりました
 2017年 9/24 卒業



さぬき
 2017年 9/27 卒業



犬泉くん→トクテになりました
 2017年 10/13 卒業



ドール
 2017年 10/15 卒業

まだ、たくさんの子たちが
 待っています!
**飼い主さん
 募集!!**

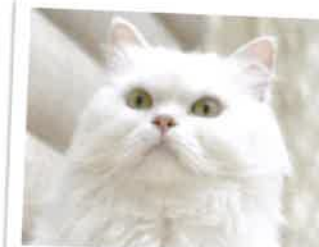
ご希望のご家族様には、
 動物を迎えていただける
 かどうか面接を受けてい
 ただいております。悪しから
 ずご了承くださいませ。
 まずは、お気軽に見学会
 にご参加下さい。

見学会のご予約は
TEL 072-737-1707

Cats



レオン
 2017年 8/30 卒業



キュラ
 2017年 8/31 卒業



チェス
 2017年 9/8 卒業



わたげ→ふうたになりました
 2017年 10/1 卒業



すずな→小萩になりました
 2017年 10/4 卒業



ティダ→ヒナタになりました
 2017年 10/4 卒業



リバー→リブになりました
 2017年 10/7 卒業



かずき→キャメルになりました
 2017年 10/11 卒業



はるき
 2017年 10/15 卒業



ゲン→ルナになりました
 2017年 10/18 卒業

にゃんだ報告

にゃんだ祭 2017

ありがとうございました!

毎年恒例のにゃんだ祭りが

11月3、4、5日の三日間で開催されました。

今年は少し肌寒くもありましたが、お天気にも恵まれ、3日間で1000名を超えるお客様にご来場いただきました。犬の大運動会や、クイズラリー、犬猫カフェ等の恒例行事に加え、インスタ映えスポットや親バカフォトコンテストといった新しい企画にも沢山の方にご参加いただきました。ハッピーハウスを卒業した子たちの里帰りもあり、たくさんの懐かしい顔、幸せそうな顔に再会でき、スタッフも大喜びでした。

にゃんだ祭りは普段ご支援頂いている方々への感謝祭でもあります、

私たちが感謝を伝えるどころか、募金のご協力やお手伝いのボランティアさん、出店していただいたお店の皆様。

また、沢山の「ありがとう」という言葉までいただきました。

支援者様あつてのハッピーハウスです。

今後もその事を忘れることなく、スタッフ一同頑張っていきます。

そして来年は今年よりももっとももっとたくさんの方にご満足いただけるにゃんだ祭にしますので、また遊びに来て下さい!!

感謝感謝の3日間!!本当にありがとうございました!

にゃんだ祭2017 実行委員長 北山花也子

感謝

準備の上で最も大変なのが、お客様駐車場の確保です。何件も回り駐車場を貸していただけませんか相談させていたいています。今回、【株式会社トライアルカンパニー】様のご厚意により、箕面森町の土地を無償でお借りすることができました。おかげさまで無事にゃんだ祭を終えることができました。本当に、本当にありがとうございました。





ペンロク 一生涯

受付班 小林 明子

2012年4月25日

保護された茶色のワンコが妊娠しており、その仔から誕生。



ロク犬兄弟で生まれたペンロク兄弟。



私との出会いはおそらく2012年7月11日。ロク(元フース)の存在を意識し始めたのは、その数ヶ月後。

求人誌『タウンワーク』で施設の存在を知り、半年間悩み、ホームページを
楽しみ、日記を読んだり、カレンダー



を購入したり。。。見学会に参加させてもらって、初めて施設訪問。



衝撃を受けた。泣けた。
何故、こんなにも捨てられた仔たちが居るのだろうか。。。見学会の内容が頭に入らなかった。。。無知だった私。何も知らなかった。



先代が亡くなった後も、ワンコとの生活がしたかった私は、どこかにワンコが落ちていないか、道端をキョロキョロと探したものだ。



どうして最期まで一緒に居ることができないのだろうか。
『保護施設』を作りたい。そんな先輩も居た。



独り独りが、最期の最期まで、一生一緒に居てくれたら。
ただ、それだけ。



世界中で命の売買をストップできたら。
ただ、それだけ。
私に何か出来る事はあるのだろうか。。



怖がりペンプは突如、夜中怖がる。
風の音か。天の声か。
前肢で壁をカリカリカリ。前肢で
私をカリカリカリ。DJペンプの始
まりだ。



私は、「寝てくれえ〜!!ペンペン♪」
と、子守唄を歌う。
これが結構、効かない。。夜中の数時
間、前肢であちこちカリカリカリ。



共に生活する家族を避けるロク。
もう4年経つんだけど。。。これまた、
長い。。



大きな大きな体の小心者兄弟。
まあ〜、何でもいいね。任せなさい。
一生、一緒に生きようね。



これからも楽しい楽しい毎日を。
一生一緒に。
この出逢いに感謝のみ。





せい 生くんのこと、 そしてー

飼育班リーダー 北山 花也子

生(せい)くんは2015年7月、生後まだ2ヶ月くらいの頃にハッピーハウスにやって来ました。

道路で横たわっているところを保護された子です。かなり衰弱していて、正直、あまり永くないのでは?と思わざるを得ないような状態でした。

それでも、「頑張って生きてほしい」、「生きて、大きな身体にまで成長してほしい」という願いを込めて、「生きる」という文字そのものの「生くん」と名付けました。

それから暫くして。なかなか太らないので心配はあったものの、ずいぶんしっかりしてきたので、「もう大丈夫!」とそれまでの個室からなんとか大部屋にデビューすることができました。

いつの間にか体もずいぶんと大きくなって、立派な成猫に成長してくれました。初めてここにやって来たときの様子からは想像もつかないほど。

生くんの「生きる」をここまで支えることができた!———こんなとき、飼育担当としての誇りとやりがい、そして喜びを実感します。

最初に出会ったときからこんなにまで成長してくれて、しっかり生きてくれて、私もうれしいよ、生くん。

そんな生くんは、とてもマイペースで怖いもの知らず。好奇心旺盛で我が道を行くタイプ。

少し素っ気なくて冷たい態度のときもありますが、ときには自分から寄って来てスリスリ、なんていうことも。

そんなツンデレな生くんが私は大好きでした。大部屋に入るといつも真っ先に生くんを探して可愛がったほどです。

やがて私が部屋に入ると必ず寄って来てくれるようになり、ますます可愛い♡と思うようになりました。

そんな生くんにもついにお声がかかり、トライアルが決定したのです!

自分だけの家族と暮らすことが、どの子にとっても一番幸せなこと。もちろん生くんだって同じ。それは分かっているし、十分すぎるほど理解はしている。でも、自分がこんなに手塩にかけた子をいざ送り出す、そのときになると、嬉しいような、寂しいような、悲しいよう

などとも複雑な気持ちになります。

あんな状態でここにやって来て、こんなに立派に成長してくれて、こんなにまで私に懐いてくれた生くん。

その生くんの幸せを願って、願うからこそ、笑顔でお別れし、送り出しました。

そのトライアルも1ヶ月が経った頃、生くんが飼い主さんの家から逃げ出してしまったという連絡を受けました。

心配で心配で、いても立ってもいられず、夜になってトライアル先のお宅まで探しに行きました。

「生くん」と呼びかけながら皆で近所を探しましたがなかなか見つかりません。夜もかなり遅くなったので、また明日の明るい時間に改めて探しに来ようかと思った矢先でした。

生くんの微かな声が、ほんの小さな鳴き声だけれど確かに生くんの声が、私には聴こえたのです。

そちらの方に近づくと、近所の家の陰からひょっこりと、生くんが姿を現わしてくれました!

「生くん!」と言って手を伸ばすと、逃げることもなく近寄ってきて、すぐに



私の腕に抱かれてくれました。

もし反対側の道へ行けば、車の通行量が激しい大通り。怖いもの知らずの生くんなら、きっとどんどん進んでしまっただけで事故に遭っていてもおかしくない状況でした。

無事に見つかったのは本当に奇跡という他ありません。

とにかく無事で良かった。本当に良かった。

その日は生くんをいったん施設に連れて帰りました。

後日、その飼主様がお迎えに来られた時、スタッフとしての私の想い—どんな想いをもってここまで育て、どれだけの愛情を注いできて、そしてどんな気持ちで送り出したのか—をお話しさせていただきました。飼主様はそれらをよく理解してくださり、逃して



しまったことを深く後悔されているのが私たちにも十分に伝わってきたので、生くんは再びそのご家庭で暮らすことになりました。

生くんだけではありません。

ハッピーハウスにやってきて少しでも

面倒をみた子には絶対に幸せになって欲しい—私たちスタッフの、そんな想いが沢山詰まった子たちばかりだという事を、新しい飼い主になられるご家族の皆さまにも是非とも知っておいてほしいと思います。



ある日の情景

総務・経理・人事担当 責任者
飛田 俊

Scene 1

仔猫のレスキュー

去る9月末のこと。能勢の山に秋の深まりを体感していた夜9時過ぎ。ハッピーハウスの電話が鳴りました。

『昨日から近所の側溝の奥で、猫の鳴き声が聞こえる!』

その場に居合わせたスタッフ2名で、すぐに箕面市の現場に向かいました。

現場の状況は、

「野良ちゃんの母猫がマンションの近くで仔猫を産んだ。そのうちの一匹が

側溝に落ちた。雨水が側溝から流れ落ちる、地下4メートルほどの下水道あたりから鳴き声が聞こえている。昨日から泣いているので、もう既に二日間が経とうとしている」とのこと。

まずはその姿を確認しようと、我々は大きなグレーチングを外し、4メートル下へ降りていきました。

そこには膝丈くらいまで雨水が溜まっていたのですが、一刻を争うので、構わずに浸かりました。水は冷たかった。。

続く→



【グレーチングを開けた状態の竪穴】

すると、猫の声の反響音が！
かなり近くにいることがわかりました。

その仔猫が移動したであろう細い横穴を覗くと、鳴き声とともに二つの光る目を発見！

「いました！」と叫びました。

すかさず餌でおびき寄せようとしてしました。

でも、距離があって、全然近寄ってきてくれません。

下水管の横穴に入ろうとしても、人間には狭すぎて中へ進むことは不可能です。

そこで考えたのが「挟み撃ち」作戦。
仔猫を挟んで下水管の反対側へもう一人が降り、両方からどちらかへおびき寄せようとしたのです。

ところが。

そこはグレーチングではなく、マンホールの蓋で塞がれていました。マンホールは役所の職員でなければ、開けることができないのです。。

それならと、ダメもとで、でも祈るような気持ちで、役所に連絡してみました。



【細い横穴。奥で仔猫の眼が光っている】

すると、「すぐ向かいます！」
文字通り、暗闇に一筋の光を見た思いがしました！

5分足らずで駆けつけてくれ、マンホールの蓋を開けてくださいました！

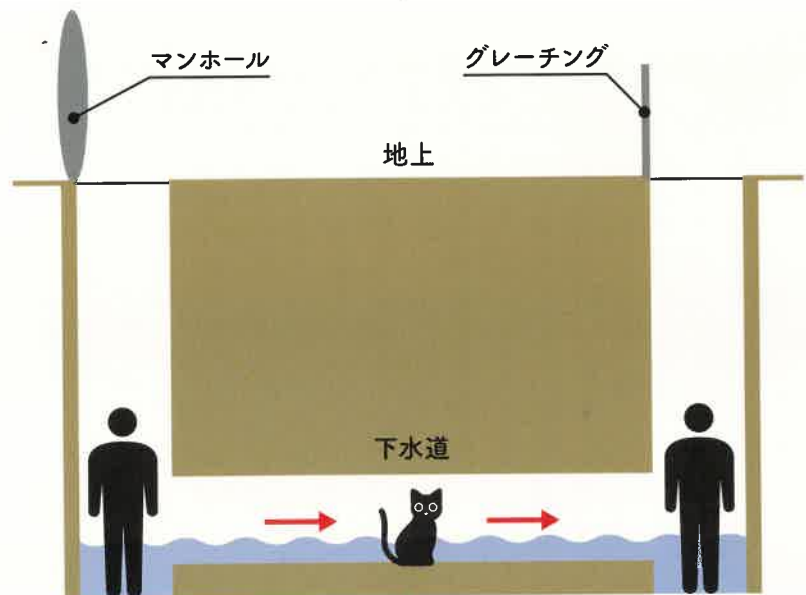
もう一人のスタッフがマンホールを下に降り、挟み撃ちにした瞬間、仔猫は驚き、こちらへ寄ってきました。

まもなく、咬まれながらもなんとか抱きかかえて、無事に地上へと戻すことができました！

よかったぁ、ひとつの命を救うことが

できた！——私たちの仕事の意義と喜びを再認識できる場面の一つです。
そしてなにより、仔猫ちゃん、よかったね！

それにしても、役所の職員のみなさんの動きには「命を救出する」ことへのまさに執念を感じました。頭が下がる想いでいっぱいです。私たちだけではけって救出できなかったと思います。迅速かつ真摯な対応をしてくださりましたこと、この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。



保健所見学で 感じたこと

10月初旬、某保健所を見学させていただく機会に恵まれました。動物保護施設に身を置く者としては、片時も頭から離れない施設であり、存在を忘れてはいけない場所です。

テレビで放映されたりネットや書籍を通じて、施設の中身や収容されている動物の様子を目にすることはありますが、実際にそこに収容されている子たちを目の前にすると、言葉を失い、声すら出なくなります。

そこには仔犬・仔猫を合わせ、40頭以上もいました。保健所の職員の方々のご心労もさぞかし大きいものと思います。

ある成犬はうなだれ、間もなく自分に訪れる結末を悟っているかのようでした。

仔犬たちは未来は明るいものだと信じて疑うことすらしていないようで、無邪気に兄弟たちと遊んでいました。

外に二頭の成犬が木に繋がれていました。

白い紀州犬のような子と、少し太った茶色の柴犬のような子。

どちらも匂いを嗅がせると恐れることなく擦り寄ってくる優しい子たち。

紀州犬は迷子犬。柴犬は持ち込み犬……

迷子の子はまだかまだかと飼主様のお迎えを待っています。早く迎えに来てほしい!と願わずにいられませんでした。

一方、柴犬の子は、【処分してくれ、殺してくれ】と飼主様から捨てられたと

のこと。
吠えない。噛まない。初めて会うというのに自分の身体を一生懸命、私に預けてくる。

連れて帰れるものなら、今すぐ連れて帰りたい。40頭全て連れて帰りたい。

同じ状況に置かれている全国10万頭の命に散ってほしくない、人間の都合だけで。

人にも頼りたい。『誰か助けて下さい!』と。

でも—
永年に渡ってペットを取り巻く環境や文化を築きあげてきた今の日本では、今すぐどうにかできない。

保健所の職員の皆様だって、好き好んでこの仕事を全うしているわけではない。

動物保護施設に身を置く私も、問題が強大過ぎてどうにもできない。

自分の無力さに、叫びだしそうになる。
『何が動物愛護だ、何が動物保護施設だ!全然足りない!解決策も!シェルター数も!人も!お金も!何もかも足りない!!』

食事をしてお風呂に入って眠る、ふだんの自分がある。でも、そうしてる間にも、動物の命が無駄に散っていつてる。だから、動物のために一日二十四時間、一分一秒も無駄にできないし、したくない。それなのに。あの子たちのために、一分一秒も無駄にできないはずなのに、夜遅くなれば帰りを待つ妻の顔が浮かんでしまう… 守るべき自分の日常生活の一方で、10万頭の動物たちの問題解決——なんて難しい、なんてうまく進まない、無力感と閉塞感に苛まれる。

それでも、進むしかない。
行動し続けるしかない。
止まっては何も変わらない。
保健所の状況を見て、【見るんじゃないかった、つらい】とは絶対に思っはいけない。

自分に助けを求めているかのような寂しそうな眼差しを、
擦り寄ってきた身体の温度を、
忘れてはいけない。
私たちは何が何でも進む。
一頭でも多く、その命を救うために。。



ハッピーチャリティグッズ

これであなたもハッピーマニア

*価格はいずれも税込み・送料別です。



かわい
い
グッズ
がい
っぱい!



オリジナルフェイスタオル
ブルー/ピンク/イエロー
各500円/枚

ハッピーハウスの
仲間たちカレンダー
2018
好評発売中!



このカレンダーには、ペットのストレスをとり、
元気になる気をいれています。
カレンダーをかけると、
部屋により気がひろがりセラピー効果があります。
あなたのペットが健康にすごせますよう願っております。
どうぶつ気功院&吉井氣功院 院長 吉井英人

猫絵師 武田寛夫 X JAT
<https://nekoonetenn.stores.jp>



タケダデザイン トートバッグ
2,500円

マグカップ
1セット2個
1,500円



缶バッジ(小) 1セット3個 色指定不可
600円



Tシャツ
ブラック/ネイビー/オレンジ
各2,000円/枚



タケダデザイン
フェイスタオル&マフラータオル
各700円/枚

可愛らしい
淡色系の
缶バッジと
マグネット



マグネット
200円/個



\\JATオリジナル\\

迷子防止メダル

もし飼い主に
万が一のことがあったら...

アニマル・セイブ・システム

愛するペットの生涯を支え続け、
保障します。



残された動物が
路頭に迷うこと
ないように、その子を終生お預かり
した上で命を保障するという
システムです。



詳しくはお問い合わせ下さい。

うちのわんこ、にゃんこが何かの拍子で
どこかへ飛び出してしまった!
そんなとき、「連絡先」が入ったメダルを
付けていれば安心です。
首輪が外れない限り
落ちることのない、
丈夫なステンレス素材で
つくられています。

お名前と
連絡先を
刻印します。

1,500円
(税/送料込み)

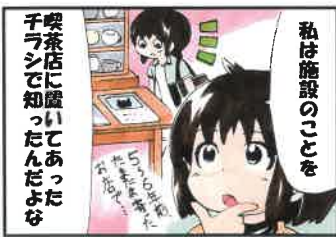


これだね
付けてると
安心だね!

ハッピーコミュニケーターって何？

作のらじゅ 取材協力 飛田さん

② 縁結びのコミュニケーター



① あなたも わたしも



日本アニマルトラストを
ご家庭の電気で支援してください

寄付電気 for HappyHouse

ご加入いただく電気代は今までと同じ。
「寄付電気 for HappyHouse」
ご家庭の電気を替えて頂くと、
みなさんの電気代から**4%が寄付**として、
HappyHouse(日本アニマルトラスト)に
継続的に支払われます。
新しい負担はありません。

- ・今までと電気の安定性や安全性は変わりません。
- ・今までと同じ料金です。(各従量電灯が対象)
- ・電気代の4%が毎月寄付されます。
- ・初期費用など一切かかりません。
- ・お申込みの期間は自由です。
- ・解約費用はありません。
- ・公益財団法人の寄付控除が受けられます。



主催：公益財団法人日本アニマルトラスト
販売：株式会社アイキューフォーメーション
(登録小売電気事業者 A0338)



詳しい内容やお問い合わせはこちらからお願いいたします。
https://mydenki.com/animal_trust
寄付電気事務局 0120-916-947

動物たちを応援して下さる 「会員」様募集中です!

施設の動物たちが“生きる”ために必要な財源(食費、医療費、施設維持)はすべて皆様からのご支援によるものです。
一度は人間に裏切られた彼らの“命を支える”ために、
継続的なサポートをどうかよろしくお願い申し上げます。

一般 会員様	月払	一口1,500円(毎月)	法人 会員様	月払	一口15,000円(毎月)
	年払	一口15,000円(毎年)		年払	一口150,000円(毎年)

会費に対しても税金控除用受領書を発行しております。
*ゆうちょ銀行の自動引落もご利用いただけます。詳しくはお問い合わせ下さい。

◆当法人への会費・ご寄付は税金控除の対象になります!◆

*銀行からお振込みの場合。ご送金後、銀行から私どもへの通知は「お振込み人」様のお名前のみのため、受領証ならびにお礼状を発行・送付できません。したがって、ご送金後にお電話、EメールまたはFAXにて、お名前、ご住所、お電話番号、送金内容をお知らせくださいませ。

ご寄付・会費などの お振込先

同封の振込用紙をご利用いただくか
下記口座へのお振込をお願いいたします。

みずほ銀行	池田支店
普通預金	1146713
池田泉州銀行	ときわ台支店
普通口座	105137

*いずれの口座も口座名義は「日本アニマルトラスト」または「ハッピーハウス」です。

出会いを待っています

新しいHappyハウスの仲間たち

飼い主さんの健康上の理由で飼育困難に。

名前:ロン
推定年齢:4才 男の子



人が大好きな、
甘えたです!

名前:さっちゃん
推定年齢:3才 女の子

飼い主さんの健康上の理由で飼育困難に。



めちゃくちゃ人懐っこくて、
いい子です!

名前:だい
推定年齢:4才 男の子



静かでマイペース。
ごはんのときは
アピール上手。

名前:ゴンゾー
推定年齢:7才 男の子

首輪なしで郊外をさまよっていました。



おやつ大好き。
元気に吠えます!

名前:しょう
推定年齢:4才 男の子



ビビリですが
打ち解けると
抱っこが大好きな
甘えた男子。

名前:ミケちゃん
推定年齢:4才 女の子



気がつくで見つめできます。
触られるのが好きです。



公益財団法人 **日本アニマルトラスト**

〒563-0131
大阪府豊能郡能勢町野間大原117
TEL: 072-737-1707
FAX: 072-737-1757
<http://www.happyhouse.or.jp>
E-mail: kat@happyhouse.or.jp

“ハッピー・コミュニケーター”
大募集!

この「ハッピーハウス通信」をご近所やお知り合いの方々に配っていただくボランティアさんを募集中です。“ハッピーの輪”を広げるために、どうかあなたのお力をお貸し下さい!詳しくはお問合せくださいませ。